



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社ZUU 上場取引所 東
 コード番号 4387 URL <https://zuu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 富田 和成
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部本部長 (氏名) 大井 賢治 TEL 03-4405-6102
 定時株主総会開催予定日 2021年6月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,789	51.0	14	—	8	—	△300	—
2020年3月期	1,847	40.2	△106	—	△125	—	△92	—

(注) 包括利益 2021年3月期 △342百万円 (—%) 2020年3月期 △101百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△67.91	—	△27.7	0.5	0.5
2020年3月期	△22.12	—	△10.1	△9.7	△5.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 △19百万円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

2. 当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	2,054	1,397	63.9	278.72
2020年3月期	1,354	893	62.8	201.44

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,312百万円 2020年3月期 851百万円

(注) 当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	231	△0	691	1,253
2020年3月期	△283	△364	23	331

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,200 ～4,500	50.5 ～61.3	0 ～200	△100.0 ～-	0 ～200	△100.0 ～-	0 ～91	- ～-	0.00 ～19.33

（注）2022年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化による状況を鑑み、レンジ形式により開示しております。詳細は、P.3「1. 経営成績の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 -社（社名）

除外 -社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期	4,708,140株	2020年3月期	4,224,860株
----------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期	150株	2020年3月期	150株
----------	------	----------	------

③ 期中平均株式数

2021年3月期	4,418,817株	2020年3月期	4,195,619株
----------	------------	----------	------------

（注）当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	2,680	45.5	249	-	178	-	△357	-
2020年3月期	1,841	40.8	△47	-	△47	-	△50	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△80.83	-
2020年3月期	△12.03	-

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	1,963	1,397	67.2	280.09
2020年3月期	1,378	933	65.2	212.78

（参考）自己資本 2021年3月期 1,318百万円 2020年3月期 898百万円

（注）当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大とそれに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発令により、急速な悪化が続く厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は、徐々に経済活動が再開され、景気の持ち直しの動きが見られたものの、感染の再拡大に伴い、行動の自粛要請や特定の都道府県を対象とした緊急事態宣言が再度発令されるなど、景気の先行きは終始不透明な状況にありました。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、株式会社電通発表の『2020年 日本の広告費』（2021年2月25日発表）によると、2020年の総広告費は新型コロナウイルスの影響もあり、東日本大震災の2011年以来のマイナス成長となった一方で、インターネット広告費は、社会のデジタル化加速を追い風に引き続きプラス成長。マスコミ四媒体（新聞、雑誌、テレビ、ラジオ）広告費に匹敵する2.2兆円を超える市場規模となっております。

このような環境の中で、当社グループはお客様や従業員の健康・安全を確保するため、全社でのリモートワーク実施、商談のオンラインへの切り替え、社内イベントのオンライン化等の施策を講じるとともに、「世界に、熱を。人に、可能性を。」というミッションの下、「ZUU online」等の自社メディアのユーザー層の拡大、及び他有力メディアとの連携も強力に推進いたしました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高は2,789,774千円（前連結会計年度比51.0%増）、営業利益は14,390千円（前連結会計年度は営業損失106,848千円）、経常利益は8,151千円（前連結会計年度は経常損失125,264千円）と前連結会計年度から大きく改善いたしました。一方でクラウド・ファンディング事業において、今後の事業計画について慎重に見直しを行った結果、247,988千円の減損損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は300,087千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失92,789千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しております。

(フィンテック・プラットフォーム事業)

自社メディアの認知度向上や訪問ユーザー数は順調に推移しており、新型コロナウイルス感染拡大に伴う証券口座開設等の需要も継続していることから送客事業は引き続き堅調に推移いたしました。またMP-Cloud(注1)、PDCA-Cloud(注2)の販売は新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部顧客企業との契約締結の遅れはあったものの、商談をオンライン中心の体制へ切り替えることで、新規顧客の開拓を進めた結果、引き続き堅調に推移いたしました。一方で当連結会計年度前半は今後の事業拡大に向けた成長投資段階と位置付けており、金融系プラットフォーム及びSaaS開発人材の確保、金融サービスのシステム開発等を積極的に実施いたしました。その結果、当連結会計年度はコストが先行する形となりましたが、売上高2,686,201千円（前連結会計年度比45.4%増）、営業利益は246,642千円（前連結会計年度は営業損失54,676千円）となりました。

(クラウド・ファンディング事業)

前連結会計年度に融資型クラウド・ファンディング運営会社及び株式型クラウド・ファンディング運営会社を当社グループに加え、今後の金融サービス直接運営に向けて体制構築を進めました。当連結会計年度においては本格稼働に向けた子会社のPMI、システムリニューアル等によるコストの先行、それらに伴い、案件組成に遅れが生じたこと等から、売上高は113,776千円（前連結会計年度は売上高264千円）、営業損失は232,251千円（前連結会計年度は営業損失52,172千円）となりました。

(注1)：MP-Cloudは、当社のコンテンツマネジメントシステム（CMS）をクラウド化して顧客向けに提供する商品を意味します。

(注2)：PDCA-Cloudは、顧客の課題にあわせた組織のPDCAの最適活用を目指し、主に経営・マネジメント・セールス面のPDCAプロセスをクラウド上に可視化して提供する商品を意味します。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,881,116千円となり、前連結会計年度末に比べ1,031,394千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が922,034千円増加し、売掛金が105,467千円増加したことによるものであります。固定資産は173,485千円となり、前連結会計年度末に比べ331,161千円減少いたしました。これは主にのれんが298,958千円減少し、敷金及び保証金が19,826千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,054,601千円となり、前連結会計年度末に比べ700,232千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は641,694千円となり、前連結会計年度末に比べ180,408千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が114,370千円増加し、その他流動負債が204,173千円増加した一方で短期借入金106,744千円減少したことによるものであります。固定負債は15,322千円となり、前連結会計年度末に比べ15,322千円増加いたしました。これは資産除去債務を流動負債から固定負債へ振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は、657,017千円となり、前連結会計年度末に比べ195,730千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,397,584千円となり、前連結会計年度末に比べ504,501千円増加いたしました。これは主に新株発行等により資本金が388,442千円、資本剰余金が372,620千円増加したことおよび親会社株主に帰属する当期純損失300,087千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.9%（前連結会計年度末は62.8%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は1,253,624千円となり、前連結会計年度末と比べ922,034千円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は231,063千円（前連結会計年度は283,773千円の支出）となりました。これは税金等調整前当期純損失241,701千円の計上はあったものの、減損損失247,988千円、のれん償却額61,890千円、未払消費税等の増減額77,527千円及びその他増減108,280千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は275千円（前連結会計年度は364,911千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13,203千円、敷金及び保証金の差入による支出28,288千円、敷金保証金の回収による収入47,967千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は691,201千円（前連結会計年度は23,560千円の収入）となりました。これは主に、株式発行による収入773,911千円、短期借入金の純減額106,744千円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

2022年3月期においても、「ZUU online」を中心とする自社メディアのユーザー層の拡大、及び、同拡大を通して培ったノウハウを、顧客企業向けのメディア・プラットフォーム（情報が発信されることでユーザーが集うオンライン上の営業店の位置付け）の構築及び運用の支援等にも活かし、成長を目指します。

次期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大による事業環境の変化による状況を鑑み、引き続きレンジ形式により開示することといたします。

売上高4,200,000千円～4,500,000千円を目指すとともに、営業利益0千円～200,000千円、経常利益0千円～200,000千円及び親会社株主に帰属する当期純利益0千円～91,000千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	331,590	1,253,624
売掛金	434,391	539,858
仕掛品	5,817	8,872
その他	79,475	83,832
貸倒引当金	△1,552	△5,072
流動資産合計	849,722	1,881,116
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	29,045	21,891
その他(純額)	10,150	9,338
有形固定資産合計	39,196	31,229
無形固定資産		
のれん	298,958	—
その他	5,612	97
無形固定資産合計	304,570	97
投資その他の資産		
投資有価証券	35,000	35,000
敷金及び保証金	111,186	91,359
繰延税金資産	13,144	14,247
その他	1,549	1,549
投資その他の資産合計	160,880	142,157
固定資産合計	504,647	173,485
資産合計	1,354,369	2,054,601

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,726	66,921
短期借入金	125,914	19,170
未払金	176,117	165,931
未払法人税等	639	115,010
資産除去債務	26,401	—
その他	70,487	274,661
流動負債合計	461,286	641,694
固定負債		
資産除去債務	—	15,322
固定負債合計	—	15,322
負債合計	461,286	657,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	467,842	856,285
資本剰余金	448,016	820,636
利益剰余金	△63,441	△363,529
自己株式	△337	△337
株主資本合計	852,079	1,313,054
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,041	△829
その他の包括利益累計額合計	△1,041	△829
新株予約権	34,945	78,718
非支配株主持分	7,099	6,640
純資産合計	893,082	1,397,584
負債純資産合計	1,354,369	2,054,601

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,847,178	2,789,774
売上原価	526,171	692,682
売上総利益	1,321,006	2,097,091
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	338,196	689,982
業務委託費	221,121	252,257
広告宣伝費	204,534	226,869
退職給付費用	7,153	8,449
貸倒引当金繰入額	1,034	3,520
その他	655,814	901,622
販売費及び一般管理費合計	1,427,855	2,082,701
営業利益又は営業損失(△)	△106,848	14,390
営業外収益		
受取利息	8	5
為替差益	66	—
助成金収入	—	880
その他	3,063	230
営業外収益合計	3,138	1,116
営業外費用		
支払利息	159	167
為替差損	—	106
支払手数料	1,599	7,080
持分法による投資損失	19,603	—
その他	192	—
営業外費用合計	21,554	7,355
経常利益又は経常損失(△)	△125,264	8,151
特別利益		
段階取得に係る差益	17,602	—
特別利益合計	17,602	—
特別損失		
減損損失	—	247,988
固定資産除却損	—	677
特別損失合計	—	248,665
匿名組合損益分配前税金等調整前当期純損失(△)	△107,661	△240,513
匿名組合損益分配額	—	1,187
税金等調整前当期純損失(△)	△107,661	△241,701
法人税、住民税及び事業税	589	102,425
法人税等調整額	△8,271	△1,103
法人税等合計	△7,681	101,321
当期純損失(△)	△99,979	△343,023
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△7,189	△42,935
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△92,789	△300,087

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△99,979	△343,023
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,427	211
その他の包括利益合計	△1,427	211
包括利益	△101,407	△342,811
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△94,217	△299,876
非支配株主に係る包括利益	△7,189	△42,935

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	453,540	438,540	98,008	△285	989,804	386	386	—	—	990,190
当期変動額										
親会社株主に 帰属する 当期純損失 (△)	—	—	△92,789	—	△92,789	—	—	—	—	△92,789
新株の発行	14,302	14,302	—	—	28,604	—	—	—	—	28,604
自己株式の取得	—	—	—	△143,322	△143,322	—	—	—	—	△143,322
自己株式の処分	—	—	△68,659	143,269	74,610	—	—	—	—	74,610
連結子会社株式の取得による持分の増減	—	△4,826	—	—	△4,826	—	—	—	—	△4,826
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△1,427	△1,427	34,945	7,099	40,616
当期変動額合計	14,302	9,475	△161,449	△52	△137,724	△1,427	△1,427	34,945	7,099	△97,107
当期末残高	467,842	448,016	△63,441	△337	852,079	△1,041	△1,041	34,945	7,099	893,082

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	467,842	448,016	△63,441	△337	852,079	△1,041	△1,041	34,945	7,099	893,082
当期変動額										
親会社株主に 帰属する 当期純損失 (△)	—	—	△300,087	—	△300,087	—	—	—	—	△300,087
新株の発行	388,442	388,442	—	—	776,885	—	—	—	—	776,885
連結子会社の増資による持分の増減	—	△15,822	—	—	△15,822	—	—	—	—	△15,822
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	211	211	43,773	△458	43,526
当期変動額合計	388,442	372,620	△300,087	—	460,975	211	211	43,773	△458	504,501
当期末残高	856,285	820,636	△363,529	△337	1,313,054	△829	△829	78,718	6,640	1,397,584

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△107,661	△241,701
減価償却費	5,048	10,205
減損損失	—	247,988
固定資産除却損	—	677
株式報酬費用	24,592	42,286
のれん償却額	10,496	61,890
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,034	3,520
持分法による投資損益(△は益)	19,603	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△19,603	—
受取利息	△8	△5
支払利息	159	167
支払手数料	1,599	7,080
売上債権の増減額(△は増加)	△259,852	△104,444
仕入債務の増減額(△は減少)	41,589	5,195
未払金の増減額(△は減少)	99,625	△11,323
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,726	77,527
その他	△19,724	108,280
小計	△215,829	207,344
利息の受取額	8	5
利息の支払額	△159	△167
法人税等の還付額	—	26,021
法人税等の支払額	△67,792	△2,140
営業活動によるキャッシュ・フロー	△283,773	231,063
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,547	△13,203
無形固定資産の取得による支出	—	△6,750
投資有価証券の取得による支出	△35,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△244,095	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	47,967
敷金及び保証金の差入による支出	△50,769	△28,288
その他	△25,500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△364,911	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	△106,744
株式の発行による収入	28,604	773,911
非支配株主からの払込みによる収入	5,250	26,655
新株予約権の発行による収入	10,353	4,461
自己株式の取得による支出	△144,753	—
自己株式の処分による収入	74,610	—
その他	△502	△7,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,560	691,201
現金及び現金同等物に係る換算差額	△571	44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△625,696	922,034
現金及び現金同等物の期首残高	957,287	331,590
現金及び現金同等物の期末残高	331,590	1,253,624

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはフィンテック・プラットフォーム事業の単一セグメントとしてセグメント別の記載を省略しておりましたが、2020年3月期にクラウド・ファンディング事業を営む会社を連結子会社化し、2021年3月期よりクラウド・ファンディング事業において本格的にビジネス展開していくことから、今後重要性が増加することとなるため、報告セグメントの区分を「フィンテック・プラットフォーム事業」と「クラウド・ファンディング事業」に変更しました。

「フィンテック・プラットフォーム事業」は金融領域特化型ウェブ/スマートフォン・メディアの運営を中心とした、金融関連市場に特化した各種サービスを展開しており、「クラウド・ファンディング事業」は融資型・株式型クラウド・ファンディングを運営しております。

なお、当該変更を反映した前連結会計年度の「報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	フィンテック・ プラットフォーム	クラウド・ ファンディング	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,846,914	264	1,847,178	—	1,847,178
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	150	—	150	△150	—
計	1,847,064	264	1,847,328	△150	1,847,178
セグメント損失 (△)	△54,676	△52,172	△106,848	—	△106,848
セグメント資産	1,054,989	343,080	1,398,070	△43,701	1,354,369
その他の項目					
減価償却費	5,001	46	5,048	—	5,048
のれん償却額	—	10,496	10,496	—	10,496
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	27,689	5,500	33,189	—	33,189

(注) 1. セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースでの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

「1. 報告セグメントの概要」に記載のとおりであります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	フィンテック・ プラットフォーム	クラウド・ ファンディング	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,681,997	107,776	2,789,774	—	2,789,774
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,204	6,000	10,204	△10,204	—
計	2,686,201	113,776	2,799,978	△10,204	2,789,774
セグメント利益 又は損失(△)	246,642	△232,251	14,390	—	14,390
セグメント資産	1,928,272	129,661	2,057,933	△3,332	2,054,601
その他の項目					
減価償却費	7,741	2,463	10,205	—	10,205
のれん償却額	—	61,890	61,890	—	61,890
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	12,655	6,625	19,280	—	19,280

(注) 1. セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	フィンテック・プラットフォーム	クラウド・ファンディング	全社・消去	合計
減損損失	—	247,988	—	247,988

(注) クラウド・ファンディング事業において、のれん等の減損損失を計上しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	フィンテック・プラットフォーム	クラウド・ファンディング	全社・消去	合計
当期償却額	—	10,496	—	10,496
当期末残高	—	298,958	—	298,958

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	フィンテック・プラットフォーム	クラウド・ファンディング	全社・消去	合計
当期償却額	—	61,890	—	61,890
当期末残高	—	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	201.44 円	278.72 円
1株当たり当期純損失(△)	△22.12 円	△67.91 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－ 円	－ 円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純損失(△)を算定しております。

3. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△92,789	△300,087
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△92,789	△300,087
普通株式の期中平均株式数(株)	4,195,619	4,418,817

(重要な後発事象)

該当事項はありません。